



フィンランド・ヘルシンキの日本公使館 (©NPO法人杉原千蔵命のビザ)



朝鮮の歩兵第七十九連隊に入営_中列左から52人目 (©NPO法人杉原千蔵命のビザ)



第30回

平和を考える戦争展

～語り継ぐ戦争の記憶・伝える平和への思い～

日時

8月8日(金)～10日(日) 入場無料

▶午前9時～午後6時

※10日は午後5時まで

会場

すばるホール

〒584-0084 富田林市桜ヶ丘町2-8

<主催> 富田林市



父子 (©永井記念館)



喪に服す (©永井記念館)

展示室のご案内

企画展1 『永井隆博士の功績』

大学での放射線医学の研究による白血病に加え、忌まわしい原爆の洗礼に遭遇、以後病床に伏しながら、昭和26(1951)年5月わずか四十三歳の若さでこの世を去るまで、負傷者の救護や原爆障がい研究に献身的に取り組んだ永井隆博士の功績をご紹介します。

企画展2 『正義の人 杉原千蔵』

～6000人のユダヤ人を救った命のビザ～

第二次世界大戦中、「命のビザ」と言われる日本国の通過ビザを発給し、約6000人のユダヤ人をナチスドイツの迫害から救った勇気と決断の人、杉原千蔵。彼は、日本から遠くはなれたリトアニアの地で、国家や政府の枠を越え、自らの領事という立場や危険をかえりみず、人として「当たり前のこと」---「人の命を救う」道を選びました。千蔵の生涯を写真やパネルで振り返るとともに、窓の向こうから切実な願いを訴えかける人びとに対し、勇気ある決断でビザを書き続けた当時の外交官執務室を再現します。

- 15年戦争
- 大阪大空襲 (資料提供: 大阪国際平和センター)
- 全国主要都市の空襲
- 広島・長崎原爆 (資料提供: 長崎原爆資料館)
- 戦時下の富田林
- 戦時下の生活ミニ体験
- ホロコースト～迫害を受けたユダヤ人 アンネフランク
- 富田林市平和を考える戦争展 30年を振り返るミニコーナー
- 平和ビデオ上映
- 市内小学生の描いた非核・平和ポスター
- 平和図書
- 「ピースアクセサリー」ワークショップ
- 平和への願い～折り鶴を折ろう
- 未来へ続くピースロード
- みんなでつくる「ピースメッセージツリー」